

科目名	母性看護援助論Ⅰ（妊娠期）	分野/教育内容	専門分野／母性看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 6 年 5 月	単位数/時間	1 単位/30 時間 ・ <u>妊娠(15 時間)</u> ・ 分娩(15 時間)を合わせて 1 単位	
講師	千葉 勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院	
		資格・免許	助産師・看護師	
授業の概要	妊娠期の妊婦および家族の看護について妊娠期の身体的変化、心理・社会的変化を理解し、妊婦及び胎児のアセスメント、妊婦の保健指導、家族を含めた看護・看護技術ついて学ぶ			
到達目標	1. 正常な妊娠の経過、妊娠期における母体、胎児の生理的変化について理解し、アセスメントができる 2. 妊婦と家族が健康を保持するための援助や出産・育児に向けた援助を理解する			
事前学習内容	授業内容に関連する範囲の教科書を読んでおく			
成績評価の方法	試験による評価 合計 100 点			
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術			
授業回数	授業概要（主な学習内容）		講師	授業形態
第 1 回	1. 妊娠期における看護師の役割 妊婦の生理 ①妊娠に関連する定義 ②妊娠の成立 ③胎児の成長		千葉	講義
第 2 回	2. 妊娠の生理 ④妊娠の生理 ⑤マイナートラブル 3. 妊婦と胎児のアセスメント ①妊婦健康診査における看護 ②妊婦健診初診で行われるアセスメント ③初診以降の妊婦健診で行われるアセスメント			
第 3 回	4. 出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護 ①. 妊婦の心理社会的変化と看護。 ②. 出産を控えた家族の心理社会的変化と看護			
第 4 回	5. 妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント			
第 5 回	1. 出産と子育ての準備の看護			
第 6 回	妊娠期における保健指導の実際		千葉	講義 個人ワーク
第 7 回	妊娠期における保健指導の実際			
履修上の留意点	・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の役割についての学びを深める ・ 分からない言葉はそのままにせず調べながら学習し、積極的に授業に臨む			

令和6年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅰ (分娩)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2年前期 令和6年6月5日	単位数/時間	1単位/30時間 <u>分娩(15時間)</u> と妊娠(15時間)を合わせて1単位
担当講師名	今野真裕美	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師・助産師
	千葉 勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院
		資格・免許	助産師・看護師
授業の概要	分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化を理解し、援助の実践を学ぶ。 また、分娩の進行と産婦・胎児の健康状態、産婦・家族の心理・社会的な問題に 焦点を合わせたアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 正常な分娩の流れとメカニズムを理解し、産婦が満足した分娩となるように 基本的な看護を学ぶ 2. 分娩期を妊娠期から連続的に捉え、分娩期必要な情報を理解する 3. 分娩が産婦やその家族に及ぼす身体的・心理的・社会的な影響を知りアセ スメントできる		
事前学習内容	妊娠期における母子の生理について復習する		
成績評価の方法	試験による評価 今野先生：80点、保健指導：千葉20点 合計100点		
使用テキスト	1) ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 2) ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	授業形態	講師
第1回	1. 分娩期における看護師の役割 2. 分娩の生理 (1) 分娩に関する定義 (2) 分娩の三 要素 (3) 分娩の経過	講義	宮古病院助産師
第2回	3. 産婦と胎児のアセスメント	講義	宮古病院助産師
第3回	4. 産婦のニーズと看護 ・産婦の基本的ニーズへの看護	講義	宮古病院助産師
第4回	・産痛の緩和と分娩進行に対応した看護 ・安全を保障する管理		
第5回	5. 産婦と家族の心理	講義	宮古病院助産師
第6回	6. 分娩期の保健指導	個人ワーク	教員：千葉
第7回	7. 分娩期の保健指導の実践	個人ワーク	教員：千葉
履修上の留意点	・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の 役割についての学びを深める ・ 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をおしてから授業を受ける ・ 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和6年度 61回生 授業概要（シラバス）

科目名	母性看護援助論Ⅱ （産褥・新生児）	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/母性看護学	
開講年次・時期	2年後期 令和6年後期	単位数/時間	1単位/15時間 産褥・新生児合わせて：15時間を合わせて1単位	
担当講師名	古舘慶子	所属・役職	看護師長補佐	
		資格・免許	看護師・助産師	
	金野 真理子	所属・役職	看護師兼助産師	
		資格・免許	看護師・助産師	
	千葉勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院	
		資格・免許	助産師・看護師	
授業の概要	産褥期にある褥婦と新生児、その家族の看護について学ぶ			
到達目標	1. 正常な産褥期の経過を理解し、褥婦の健康アセスメントができる。 2. 母乳育児と看護について理解する。 3. 正常な新生児の経過を理解し、新生児の健康アセスメントができる。			
事前学習内容	妊娠期、分娩期の看護について復習する。			
成績評価の方法	終講試験による評価（100点満点）産褥・新生児：60点（金野）母乳育児：20点（古舘） 保健指導 20点（千葉）			
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術 医歯薬出版株式会社：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		講師	授業形態
第1回	産褥期の定義・産褥期における看護師の役割・産褥の生理・褥婦のアセスメントと看護		金野先生	講義
第2回	褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護（帝王切開術後の褥婦のアセスメントと看護は除く）母親へなることへの看護		金野先生	講義
第3回	新生児の看護・新生児期における看護師の役割・新生児の生理・新生児期のアセスメント・新生児期のケア		金野先生	講義
第4回	母乳育児と看護・乳房の構造と機能・乳汁分泌のメカニズム		古舘先生	講義
第5回	母乳育児支援の実際		古舘先生	講義
第6回	産褥期の保健指導		千葉	個人ワーク
第7回	産褥期の保健指導		千葉	個人ワーク まとめ
履修上の留意点	・各回の講義の後には必ずテキストを読み復習すること。 ・新聞・テレビ等日々のニュースに関心をもつこと			

令和6年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅲ (ハイリスク)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2 年後期 令和 6 年	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 2 単元で構成される ・ <u>ハイリスク：15 時間</u> ・ <u>周産期異常の看護：15 時間</u>
担当講師名	産婦人科医師	所属・役職	宮古県立宮古病院 産婦人科科長
		資格・免許	医師
授業の概要	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児 におこる問題を理解し、医学的対応、健康状態のアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 妊娠・胎児・胎児付属物に見られる異常を理解する 2. ハイリスク妊娠の管理に必要な検査を理解する		
事前学習内容	母性看護援助論Ⅰ（妊娠・分娩）、母性看護援助論Ⅱ（産褥）で学習した内容を復習 しておく		
成績評価の方法	試験(100 点)		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実際		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	妊娠期の異常 p94～ ・ 子宮外妊娠・妊娠維持期間の異常・妊娠に伴う異常・多胎		講義
第 2 回	妊娠期の異常 p111～ ・ 合併症を有する妊娠・妊娠期の感染症 ・ 羊水量の異常・胎盤機能不全		
第 3 回	分娩期の異常 p168～ ・ 産道の異常・娩出力の異常・娩出物の異常・児頭骨盤不均衡 ・ 臍帯の異常・胎児機能不全 ・ 分娩時裂傷・異常出血・産科処置・手術		
第 4 回	産褥期の異常 p 264～ ・ 産褥期の出血・血栓症・産褥期の感染症・産褥期の下部尿路機能 障害・乳頭、乳房トラブル・産褥精神障害 帝王切開術		
第 5 回	周産期の異常のまとめ		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和6年度 61回生 授業概要(シラバス)

z科目名	母性看護援助論Ⅲ (周産期異常の看護)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2年後期 令和7年	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の2単元で構成される ・ ハイリスク：10時間 ・ 周産期異常の看護：20時間
担当講師名	千葉勝子	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師・助産師
授業の概要	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児におこる問題を理解し、医学的対応、健康状態のアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 妊娠期・分娩期・産褥期の異常の看護のポイントを理解する。 2. 母性看護における看護過程の展開を理解する。 3. 特殊のニーズをもつ、妊産婦と家族への支援を理解する。 4. 周産期における保健指導の実際を理解する		
事前学習内容	母性看護援助論Ⅰ(妊娠・分娩)、母性看護援助論Ⅱ(産褥)で学習した内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)                      終講試験 80点                      保健指導の実際 20点		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実際		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	妊娠期の異常		講義
第2回	分娩期の異常		
第3回	産褥期の異常		
第4回	帝王切開術前・後の看護 看護過程の展開		
第5回	切迫早産妊婦の看護の展開		
第6回	特殊なニーズを持つ妊産婦と家族への支援		
第7回	周産期における保健指導の実際①		演習
第8回	周産期における保健指導の実際②		
第9回	周産期における保健指導の実際③		
第10回	まとめ		講義
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		